




【4月期】3月6日(水)10時から受付開始


※金額はすべて消費税が含まれております。

## 歴史


講座名	常陸中世史探訪21	
講師名	糸賀 茂男 (常磐大学名誉教授)	
講義日時	第2、第4火曜 10時～11時30分	
	①4/9    ②4/23    ③5/14    ④5/28    ⑤6/11 ⑥6/25    ⑦7/9    ⑧7/23    ⑨8/27    ⑩9/10	
受講料 (10回分)	会員            13,200 円 一般            16,500 円	
講座内容	今、日本中世史が面白い。平安・鎌倉・南北朝・室町・戦国各期の常陸の歴史を探訪しつつ、真の日本の成り立ちを感じ取ってみましょう。	


講座名	中世後期の常陸小田氏とその周辺	
講師名	中根 正人 (筑波技術大学職員、茨城地方史研究会会員)	
講義日時	第2土曜 10時～11時30分	
	①6/8    真壁氏と小田氏 ②7/13    土岐氏と小田氏 ③8/10    岡見氏と小田氏	
受講料 (3回分)	会員            3,960 円 一般            5,610 円	
講座内容	当該期の常陸南部の動きを、小田氏と関わりの深い諸勢力の活動や、小田氏との関係性を題材としてみていきます。	


講座名	江戸時代を見直す(その1)	
講師名	永井 博 (茨城県立歴史館史料学芸部特任研究員)	
講義日時	第4金曜 13時～14時30分	
	①4/26    「天下統一」とはどういうことか ②5/24    「法」と「儀礼」による支配 ③6/28    参勤交代とは何か ④7/26    インフラの整備－水上と陸上－ ⑤8/23    国際関係－4か所の接点－	
受講料 (5回分)	会員            6,600 円 一般            9,900 円	
講座内容	現代日本の基礎としての江戸時代の再評価が進んでいます。本講座ではテーマを設定して学んでいきます。	


講座名	<b>古文書を読む</b>		
講師名	平野 明夫 (國學院大學兼任講師)		
講義日時	第2、第4木曜 13時～14時30分		
	①4/25    ②5/9    ③5/23    ④6/13    ⑤6/27 ⑥7/11    ⑦7/25    ⑧8/8    ⑨8/22    ⑩9/12		
受講料	会員	13,200 円	
(10回分)	一般	16,500 円	
講座内容	<p>むかしの手紙に書かれたくずし字を読んでいきます。古文書を読むというと江戸時代の古文書が多いですが、それ以前の古文書も読んでいきたいと思えます。有名人の手紙も取り上げます。</p>		

講座名	<b>常総の歴史—天下人の時代の常総</b>		
講師名	平野 明夫 (國學院大學兼任講師)		
講義日時	第2、第4木曜 15時～16時30分		
	①4/25    信長の天下統一 ②5/9    信長と関東諸勢力 ③5/23    秀吉の天下統一 ④6/13    佐竹氏の臣従と常総地域 ⑤6/27    徳川家康の関東入国と常総地域 ⑥7/11    秀吉と古河公方家 ⑦7/25    秀吉と結城氏 ⑧8/8    秀吉と多賀谷氏 ⑨8/22    秀吉の朝鮮出兵と常総地域 ⑩9/12    関ヶ原の戦いと常総地域		
受講料	会員	13,200 円	
(10回分)	一般	16,500 円	
講座内容	<p>茨城県南西部から千葉県北西部にかけての地域に関する歴史を解説します。戦国の世が終息へと向かう時代に天下人として登場した織田信長・豊臣秀吉・徳川家康。その時代の常総地域の様相を見ていきます。</p>		

講座名	<b>New ! 歴史の視点 I – 転換期の資料からみた古代の茨城 –</b>	
講師名	黒澤 彰哉 (元茨城県立歴史館史料学芸部長)	
講義日時	第1水曜 13時～14時30分	
	①4/3 古墳文化の波及を物語る土器の出現 ②6/5 畿内よりも盛行した茨城の埴輪 ③7/3 墳丘の中心に埋葬されない不思議な古墳 ④8/7 『常陸国風土記』に見える安是湖と阿多可奈湖 ⑤9/4 多賀城碑に見える「常陸国界」の意味	
受講料	会員	6,600 円
(5回分)	一般	9,900 円
講座内容	考古学資料や史料をもとに、従来の研究とは異なる視点で新たな茨城の古代史像を追求していきます。	

講座名	<b>New ! 茨城の寺院と仏教</b>	
講師名	千葉 隆司 (かすみがうら市歴史博物館館長)	
講義日時	第1、第3土曜 10時～11時30分	
	①6/15 古代仏教と国分寺 ②7/6 常陸講師最仙と天台宗 ③7/20 徳一と筑波山中禅寺 ④8/3 忍性と真言律宗 ⑤8/17 善光寺と女人救済 ⑥9/7 高野山と戦国武将	
受講料	会員	7,920 円
(6回分)	一般	11,880 円
講座内容	茨城には、特徴的な仏教や僧侶の歴史があり、そして中心的な寺院が建立されました。今回の講座では、古代から中世にかけての代表的な6項目の茨城の仏教について学びます。	

講座名	<b>New ! 長塚節『土』から読み解く茨城の生活文化(前編)</b>	
講師名	伊藤 純郎 (筑波大学名誉教授)	
講義日時	第1、第3金曜 10時～11時30分	
	①4/19 長塚節の生涯と夏目漱石の評価	
	②5/17 『土』に描かれた地域－近代の常総地域	
	③5/31 お品の死Ⅰ－間引き・嬰兒殺し ④6/7 お品の死Ⅱ－葬儀・埋葬 ⑤6/21 お品の結婚－婚姻・家族	
受講料	会員 6,600 円	
(5回分)	一般 9,900 円	
テキスト代	737円(税込)『土』長塚節 著(新潮文庫) *各自ご用意ください。	
講座内容	<p>長塚節の長編小説『土』(1912年)を読み解きながら、常総・つくば地域の近代史を、結婚・間引き・埋葬・食事・信仰などの視点から考察します。</p>	

講座名	<b>New ! 利根川から考える茨城の開発</b>	
講師名	橋本 直子 (歴史地理学会会員、専修大学兼任講師)	
講義日時	第2金曜 13時～14時30分	
	①4/12 利根川改変 現在の東京湾に注いでいた利根川が約100年をかけて現在の流路となった過程を探ります。	
	②5/10 小貝川・鬼怒川流域の新田開発 古代鳥羽江に開かれた新田や飯沼に代表される内陸湖沼の干拓を学びます。	
	③6/14 利根川舟運と船橋 利根川の改変は銚子から関宿を経て江戸に至る内陸舟運路を確立しました。また近代に登場した船橋を紹介します。	
受講料	会員 3,960 円	
(3回分)	一般 5,610 円	
講座内容	<p>利根川が現在の流路となったのは江戸時代初頭のことでした。関宿の台地から常陸川へ導かれた利根川は常総地域の耕地開発や交通網を推進します。利根川が茨城にもたらした歴史を開発の観点から考えます。</p>	